

## 会派の構成と電話・FAX 番号

自由民主党・中道の会(14人) TEL 823-9401 FAX 873-0121  
 市民クラブ(6人) TEL 823-9402 FAX 802-3055  
 日本共産党(6人) TEL 823-9404 FAX 823-9558  
 公明党(6人) TEL 823-9403 FAX 871-2485  
 さきがけ高知(1人) TEL 856-9587 FAX 823-9350  
 参政党(1人) TEL 803-5063 FAX 823-9350

※さきがけ高知、参政党のFAX番号は議会事務局直通です。

# 個人質問

本市議会ホームページで、  
過去1年間の本会議における  
質疑および一般質問の映像を  
録画で配信しています。



市民クラブ  
くずめ しんいちろう  
楠目慎一郎



### 事務事業見直し

**問** 市民は「なぜ見直しが必要か」が最大の関心であり不安。市長として、どう説明し理解を求めるか考えを伺う。

**答** なぜ見直しを行うのかを市民と共有し、理解を得ながら進めることが重要。硬直化した財政構造を柔軟な予算編成が可能となるよう転換し、市民生活への影響を見極め慎重に検討する。

### 災害時の携帯トイレの備蓄

**問** 防災指針等で推奨する一人1週間分の備蓄目安の周知や普及啓発について聞く。

**答** 在宅避難も想定し、最低3日分、可能であれば1週間分の携帯トイレの家庭内備蓄の促進に向け、周知啓発を強化していく。

### 出産環境整備

**問** 出産環境整備を人口減少対策の柱とし、本市独自の取り組みを強化する考えは市長にあるか。

**答** 安心して産める環境づくりは重要。不妊治療助成やプレコンセプションケアの啓発等を医療機関や県と連携して進めたい。



自由民主党  
・中道の会  
ひらた ふみひろ  
平田 文彦



### 本市の道徳教育について

**問** 教職員の資質が問われる事案が多く発生している中で、教育委員会として、どのような研修等を行ったのか聞く。

**答** 全ての教員は、「子供たちの人格の完成を目指し、その成長を促す」という非常に重要な職務を担っている高度専門職」であり、教育委員会には不祥事の根絶に向けた取組を徹底することが求められている。今後も、教職員一人一人が、不祥事を絶対に起こさない、起こさせないという強い気持ちを持ち、取組を継続していきたい。

### 本市の主権者教育について

**問** 小・中学校における今後の主権者教育の対応の方向性を伺う。

**答** 主権者としての意識が高まるよう教育内容の充実を図ることが大切である。小学校では、学校行事などの活動において、主権者としての意識を高める取組を充実させていきたい。また、中学校では社会との結び付きを体験できる活動や学校行事などを充実させることが大切である。



自由民主党  
・中道の会  
とだ じろう  
戸田 二郎



### 問

教育一筋にキャリアを積み上げてきた教育長の学校教育観、家庭教育の重要性と家庭教育の支援に関する条例制定の考えを聞く。

**答** 基礎・基本を身に付けることが公教育の使命。家庭教育の自主性を尊重しつつ、条例化という方策も学んでいく。

**問** 学びの多様化学校を潮江中の分教室とする理由と学習指導要領から逸脱する懸念について聞く。

**答** 教育支援センターとの連携が利点。特別な教育課程で多様な背景を持つ生徒の学びを保障する。

**問** 迫りくる南海トラフ地震への備えとして迅速な事前復興に不可欠な「世界測地系基準点」設置の必要性及び事業の可能性を聞く。

**答** 財源の課題もあるが必要性は理解しており、令和9年度事業化も含め関係団体と協議を進める。

**問** 高知県は空き家率全国2位。「空家等管理活用支援法人」の指定に向けた作業の進捗はいかに。

**答** 空家等管理活用支援法人の指定に関する取り扱い方針を作成し、速やかな法人指定に努める。



自由民主党  
・中道の会  
おおた よしお  
大田 芳男



### 公共交通について

**問** 昨年の7月に、ワーキンググループが設立され路面電車と路線バスの在り方について、検討を行うこととされていたが、具体策については、持ち越されている。現状のままでは、本市の財政負担も続いていくことが予想されるため、早く具体策を検討するべきではないか。

**答** 電車とバスは公共交通を考える上で密接に関連するため、県と検討の方向性の整合を図り、スピード感を持って公共交通ネットワークの再構築に向けた検討を進め地域の移動手段の確保に努める。はりまや橋観光バスターミナルについて

**問** はりまや橋観光バスターミナルは、本市から指定管理料として、令和5年度には約2千万円が支出され管理されているが、指定管理によらない運営はできないか。

**答** サービスの向上と経費の削減等を目的に、指定管理者制度を採用している。今後とも安全で円滑な事業運営を行っていききたい。



自由民主党  
・中道の会  
かつき りょうきく  
甲木 良作



### 犯罪被害者等支援について

**問** 本市においても令和8年度施行を見据えた支援内容の検討が進められている。県制度の補完として、全国的にも多く事例があり実費の支払い後の領収不要・即時支給を特徴とする使い勝手が良い「見舞金制度」の導入を検討すべきであるが、今後の支援策について、市長の所見を伺う。

**答** 本市における制度導入については、中核市の導入状況や支給金額のデータ等も踏まえて、先進事例等を参考に、条例の制定と併せて検討を進めていきたい。

### 春野公民館・筆山文化会館合築事業について

**問** 市民の意見や利用者アンケート結果をどう反映させるのか、文化観光スポーツ部長に伺う。

**答** 利用者からの意見やアンケート結果については、設計業者とも共有し、必要な倉庫、バリアフリー化の実現など、可能な限りご要望に答えられるよう、設計業務を進めている。



日本共産党  
みやもと なおき  
宮本 直樹



市有地への新県民体育館整備計画に問題あり。県から市民に説明がないのは理解できない。

**問** 県の場合は体育館に隣接する教育研究所、グラウンド等を利用する多くの生徒、市民等に影響が大きい。利用者の声を聞くべきだ。

**答** 市民生活に大きく関わる施設で、市民の意見をしっかりと県に伝える事が重要。教育施設もあり、利用者の意見を集約し、計画に反映してもらるように県に伝える。

消防広域化（県一消防）は高知市にメリットがない。市長に聞く。

**問** 広域化参加は、一度立ち止まり、時間をかけて熟慮が必要だ。

**答** 議論の時間が足りず、広域化賛否について、方向性を出すことが困難。スケジュールありきでなく、丁寧に議論を重ね、課題を解決していくことが重要と考える。

火葬需要が増加。長期の「火葬待ち」の解消を求める声は多い。

**問** 斎場の火葬件数増への対応について聞く。

**答** 職員の増員を行う。また冬場の友引に一部開場も予定。



公明党  
たかぎ たえ  
高木 妙



不登校支援の一つとして、「学びの多様化学校」を高知市立潮江中学校の分教室型として、潮江市民図書館4階に設置することは理解できるが、周辺環境の変化を見極めて進めるべきだと考える。

**問** 分教室型を選択した理由について教育長に伺う。

**答** 令和5年の国の教育基本計画に「分教室型」が示されたことにより、早期に実現可能な形として選択した。

**問** 教員配置について伺う。

**答** 教頭を配置し、決裁権を持つ者が運営するというのは、学校として当然のことだと思っており、強く要望していく。

**問** 新県民体育館整備において、教育財産であるグラウンドを一体的に使用して整備することが検討されているが、桑名市長の見解を伺う。

**答** グラウンドを提供することになった場合にも、不足分を補う屋上の運動スペースや、現在の利用に付加価値を生むような整備をお願いしていく。





日本共産党  
ふじ き ま ゆ み  
藤木真由美



**問** 施設使用料の見直しについて、市民に事前説明を。未来ビジョンについて、市長に問う。

**答** 使用料値上げについて、市民への説明の場を設けるか。

**問** 議決後、広報紙やホームページ、予約の際などに周知を行う。

**答** 令和12年度までの総合計画を8年度末で廃止し、9年度から8年間の「(仮称)高知市未来ビジョン」を策定するに当たり、市内でどのような議論がされたのか。

**答** 社会・経済情勢の急激な変化、人口減少対策、南海トラフ地震対策などスピード感を持って取り組み必要性を念頭に検討した。

**支え合う共生社会の実現を**

**問** 国籍・出自などの違いを理由とする差別や排外主義的な風潮に対する市長の考えを聞く。

**答** このまちで暮らし、学び、働き、訪れる全ての人の安全と尊厳を守り、誰一人取り残さない。

**障害のある人の投票参加**

**問** 弱視の方の自筆投票を支援するための補助具の導入を。

**答** 導入を検討していきたい。



公明党  
やまね たかひろ  
山根 堂宏



**問** 行財政構造改革を進める上での、本市の構造的な課題について

**答** 本市における行政組織の在り方、事務の処理方法、財政運営の仕組みなどの構造的な問題点について、市長のご所見を伺う。

**問** 1点目の行政組織の在り方の課題では、各部署が特定の政策分野を担当し、専門性を生かした事業展開ができる一方で、全庁横断的な調整が十分にされず、各課における事業内容が重複するなど、効率的な事務執行が図られていないケースがある。

**答** 2点目の事務処理方法の課題は、人口減少で職員確保が一層困難となるため、DXやAIの活用等さらなる事務の効率化が求められる。3点目の財政運営上の課題としては、本市は基幹産業が乏しく、市税収入が少なくという歳入面での課題が考えられる。

**問** そのため、本市の抱える構造的な課題の解決に向け、持続可能な行政運営と本市のさらなる発展のため、組織一丸となって行財政構造改革を成し遂げていきたい。

**答** 市長の政治理念

**問** このたびの参議院議員選挙において、参政党は日本人ファーストを掲げました。地元紙においての市長のコメントは、特定の政党に向けられた異例のものであったのではないか。

**答** 党が主張する日本人ファーストという考えそのものについては一つの政策として尊重。しかし、この表現を端緒としてSNSで見られるように、一部で誹謗中傷や排外的な感情が広がっている状況を受け、実社会における差別や分断に至ることがあってはならないという私の思いを表明したものだ。

**子ども食堂と地域共生**

**問** 物価高により、子どもたちの食を取り巻く環境が大変厳しくなっている。現状をどのように認識しているのか。

**答** 貧困で食事が取れないことはあってはならない。各学校のスクールソーシャルワーカー等との連携により、個別に支援が必要な世帯等に対して家庭訪問を行い、食料や育児用品支援を行っている。



参政党  
のむら えいいち  
野村 栄一



**問** 健康増進のためのジョギングコース23カ所の整備について

**答** ジョギングやウォーキングに親しんでいる市民の協力を得るためのクラウドファンディングの活用やネーミングライツの導入を検討できないか市長に伺います。

**問** ジョギングコースの提供は、市民の皆さまの健康維持につながるだけでなく、本市を訪れる観光客の満足度向上という点から、シティプロモーションにもつながると思います。市道に設定したものの整備実施の財源を確保する方策として、クラウドファンディングやネーミングライツの活用は実施可能と思われます。ジョギングコースのネーミングライツは注目度も高くなり、各コースに独自の名前を付けることが可能で地域の皆さまにも親しみを持っていただけます。また、旅行者の方に「一度走ってみたい・歩いてみたい」という魅力づくりに取り組むことで、本市の掲げる重要な施策の一つであるスポーツを核としたまちづくりの実現につながると考えます。

**答** ジョギングコースの提供は、市民の皆さまの健康維持につながるだけでなく、本市を訪れる観光客の満足度向上という点から、シティプロモーションにもつながると思います。市道に設定したものの整備実施の財源を確保する方策として、クラウドファンディングやネーミングライツの活用は実施可能と思われます。ジョギングコースのネーミングライツは注目度も高くなり、各コースに独自の名前を付けることが可能で地域の皆さまにも親しみを持っていただけます。また、旅行者の方に「一度走ってみたい・歩いてみたい」という魅力づくりに取り組むことで、本市の掲げる重要な施策の一つであるスポーツを核としたまちづくりの実現につながると考えます。



公明党  
いとう ひろゆき  
伊藤 弘幸





さがけ高知  
ばん たいずみ  
伴 武澄



### 崖っぶちの財政

**問** 18億円の財源見直しなしでは来年度予算を組めない。その後も続くなら、5億円、10億円規模のリストラがいくつも必要になる。数百万円規模の事業を並べて、5億円になったで済む話ではない。

**答** 例えば、文化プラザかるぽーとをやめてもすぐに10億円が出てくるわけでもない。バランスの問題もあるが、ゼロベースで見直して、5億円をどう削減するかだ。

### 地方税のとりそびれ

**問** 大企業の支店や営業所の幹部で転入届を出していない人は、高知市に地方税を支払っていないのでは。もしそういった人が千人いれば、最低でも10億円になる。住民登録なしでも課税できる「住民登録外課税」を徹底しては。

**答** 地方税法上、その市町村に住所を有する人に課税をすることになっている。課税すべき人に課税していくことは大変重要。未賦課の住民登録外課税で、どれだけの税収があるかは不明だが、周知はしっかりやっていく。



日本共産党  
しももと ふみ  
下本 文雄



### 桑名市長、「核抑止論」を否定

**問** 「核戦争になれば人類も地球も再生不能な惨禍に見舞われ復興不能となる」と述べた広島県知事の核抑止論批判をどう思うか。

**答** 「抑止とは頭の中の概念」の表現は承知している。歴史を見ても国家や指導者が常に合理的とは限らず、偶発的事故などが核兵器使用につながるリスクは存在している。人類が持続的な平和と安定を実現するためには武力による均衡でなく、外交はじめ非軍事的手段を活用し核兵器に依存しない安全保障の在り方を模索することが国際情勢を見ても必然と考える。

理解できない市長の姿勢！市民の自由意志で可能な条約締結オンライン署名の推進に背を向ける

**問** 核兵器禁止条約の早期締結を求めるオンライン署名の推進を。

**答** 「平和首長会議」のホームページでもオンライン署名は可能である。本市としては多様な立場の方や価値観への配慮は必要であるため、市が主体的に署名活動を実施することは考えていない。



市民クラブ  
おがさき ゆたか  
岡崎 豊



### 令和6年度決算について

**問** 財政調整基金の残高と、今後の見込みを問う。

**答** 現在の残高は約70億円。今後、毎年度13億円の取り崩しを行えば、約5年間で財政調整基金が枯渇すると、財務部長は答弁した。

**問** 財政健全化の覚悟を問う。

**答** 財政構造の転換は責務の一つ。新たな挑戦と進化への第一歩として取り組むと市長は答弁した。

**問** 人口減少対策について

**答** 人口減少対策の効果は、多角的に取り組んできたが、効果が表れるには暫く時間が必要。キャリア教育の推進や出産・子育て支援等で県・市の取組を強化し、全力で取り組むと、市長は答弁。

**問** 読書活動推進計画について

**答** 取り組みについて問う。中学生の約5割が読書をしていない現状で、読書活動の推進は必要不可欠。各校に図書館支援員を配置し、読書環境を整えている。さらに、支援員への研修を実施し、専門性の向上と読書活動の普及に努めていると、教育長は答弁した。



公明党  
おおく たかし  
大久保尊司



### 選挙投票所の対応について

**問** 7月の参議院議員選挙では、若者を中心に投票率が伸びましたが、初投票に行った若者は、投票方法や投票所の雰囲気困惑し、投票に抵抗感などを感じたと伺いました。投票所での若い方への配慮はできないか伺います。

**答** 初めて投票される方や不慣れな方、高齢者や障がい者の皆さまにも円滑に投票していただけるよう、投票所の雰囲気づくりに努め、戸惑っている方を見かけたら、従事者から声がけをするよう、投票管理者や事務従事者説明会の中で、しっかりと周知していきます。

**問** 高知市出身の漫画家、横山隆一先生と縁のある鎌倉市と観光・文化協定は可能か伺います。

**答** 歴史、文化、観光都市として多様な魅力を持つ鎌倉市との連携は大変有意義と考えるが、近年は交流が少なくなっている。今後、横山隆一先生をはじめ、文化、観光分野など、官民を問わず機会を捉え、検討していきます。





日本共産党  
はまぐち かずこ  
浜口佳寿子



子どもには安心して「休む権利」があり、「学校は義務ではない」

**問** 不登校は心が傷つき、休息が必要な状態である。子どもの休む権利等について教育長に伺う。

**答** 心のエネルギーが不足している子どもに休息は必要な時間であり、一人一人に寄り添いながら取り組みを進める。

不登校児童生徒の保護者への情報提供の充実を求める

**問** 学校に支援情報を提供する資料等の整備を求める声がある。

**答** ウェブサイト「Liccoネット」で情報発信を行っている。

「学びの多様化学校」に給食を

**問** 中学校の分教室であり、格差や経済的負担への配慮も必要。

**答** 衛生管理上の観点や食にこだわりを持つ生徒もあり、家庭で用意してもらうことを考えている。

津波から守った命をつなぐため、緊急避難場所に猛暑等の対策を

**問** 対策は喫緊の課題では。

**答** 県の新たな被害想定を踏まえた地区別津波避難計画などの検証作業の中で検討していく。



日本共産党  
さこ てつろう  
迫 哲郎



特定利用港湾の指定撤回を

**問** 高知港の特定利用港湾の利用について、自衛隊等から連絡はあっているのか。

**答** 今年度の利用については、連絡はない。ただ、以前、一度訓練が行われた際に、連絡が遅れたことから、事前の報告について県に要請している。

県一消防 本市に数億円の負担増となる試算 受け入れできないとの姿勢示すべき

**問** 試算が示されたことに対して県の検討会での市長の発言は。

**答** 指令システムの統一後もかかり続ける本市の新たな億単位の持ち出しは、なかなか議会に説明がつきにくいとの考えを伝えた。

必要な財政支援等を、国や県に要望していきたい。

産後ケア事業 県内の他自治体より低い委託単価 改善を求める

**問** 他自治体との調整が必要だ。

**答** 県が産後ケアの連絡会を立ち上げ、8年度には標準的な委託料等の考え方を決定する予定。より良い方向へ尽力していく。



自由民主党  
・中道の会  
よこやま こうだい  
横山 公大



産後ケアの拡充について問う

**問** 周知方法、利用回数増、供給増、財源確保について、利用者の要望に沿った拡充を求める。

**答** 母子健康手帳交付時に約7割への周知ができています。

利用回数増は、施設側の受け入れ可能数の課題もあり、新規施設の募集を行うことで対応していきたいと考えています。また、財源上の課題については、国に対して補助上限額を引き上げることなどを、今後も要望していく。

よさこいのトイレ問題について

**問** よさこい祭り期間中のトイレ案内について県外客に分かりやすく整備し、本市所有のトイレレラーの利活用も検討すべき。

**答** 観光客への事前周知は、十分な案内に至っておらず、効果的な周知方法について、よさこい祭振興会と協議していきたい。

また、トイレレラーの利活用は、防災面でも大変重要で効果的と考える。来年度に向け、防災対策部と連携し、具体的に検討していきたい。

## 議会BCPに基づく災害対応訓練

令和7年4月1日に「高知市議会業務継続計画（議会BCP）」を改定したことに伴い、内容の検証につなげることを目的として、9月30日（火）の本会議終了後に訓練を実施しました。

議会BCPは、大規模災害が発生した場合においても議会としての役割を適正に果たしていくこと、また、本市執行部の災害対策本部が災害対応に専念できる環境を整えていくことを目的に、議会としての対応の方針と議員の行動指針について策定したものです。

訓練は定例会の個人質問中に震度6弱の地震が発生し、大津波警報が発令された想定とし、緊急地震速報を確認した議長が本会議の「暫時休憩」を宣告しました。揺れが収まった後、全議員がヘルメットを着用の上、会派控室に移動し、被害状況の確認など、情報収集を行いました。

その後、議会BCPの手順に従い、議長が「議会災害対策会議」を設置し、各会派の代表者らが本会議を「延会」とする方針を確認しました。

引き続き、議会運営委員会を開催し、「延会」を正式決定した後、全議員が議場に参集し、本会議において議長が「延会」を宣告すること、一連の訓練を終了しました。